

『ア ジ ア 経 済』 総 目 次

—第29巻第1号～第12号—

No. ページ	No. ページ
1950年における朝鮮民主主義人民共和国 による韓国地域の土地改革……………桜井 浩…1…2	サ社会の事例……………室井義雄…7・8…7
フィリピンにおける都市非公式部門(I) ——マニラ首都圏のスラム住込み 調査から……………中西 徹…1…17	キンシャサ周辺農村の土地問題——植 民地期労働移動要因の再検討……………武内進…7・8…32
シンガポールの政治指導者……………岩崎育夫…2…2	ケニアの農村階層分化に関する一考察 ——移動労働者の送金をめぐ って……………池野 旬…7・8…55
タイの経済発展と国内人口移動 ——1970年代の変化を中心 として……………渡辺真知子…2…25	ザンビアにおける農村・都市間労働移動 ——移動者による農村との紐帯…小倉充夫…7・8…77
フィリピンにおける都市非公式部門(II) ——マニラ首都圏のスラム住込み 調査から……………中西 徹…2…48	コートジボワールのブルキナファソ人 ——西アフリカの国際労働移動…原口武彦…7・8…90
私金融とインド洋世界(19～20世紀) ——グジャラート, マスカット, ザンジバル……………富永智津子…3…2	新たな矛盾に悩む中国農業……………小島麗逸…9…2
ケニアの製紙・パルプ合弁事業——イン ド系多国籍企業と技術移転……………小島さくら…3…19	利潤率, 企業集中と下請関係——サイ アム・モーターズ・グループの 事例……………池本幸生…9…20
マレー・ナショナリズムにおける 政治組織とシンボル操作—— マレー性/イスラームをめぐる政治 的集団形成の分析……………田村愛理…4…2	メキシコの民族系大企業グループ(I) ——1970年代から80年代初頭にお ける急成長過程……………星野妙子…9…34
1930年代インドの関税政策……………山本盤男…4…27	19世紀末のジャワのイスラーム教育と ブサントレン……………小林寧子…10…2
インド財政における中央・州関係(I) ——財政移転の分析, 1972～84年…佐藤 宏…5…2	メキシコの民族系大企業グループ(II) ——1970年代から80年代初頭にお ける急成長過程……………星野妙子…10…22
タイ自動車産業の考察——取引費用論 的アプローチ……………竹中康治…5…21	イスラーム金融制度の理念と実態 ——パキスタンのケース……………山中一郎…11…2
経済協力の「理念」の評価……………小野五郎…6…2	第三世界における都市廃棄物処理の現 状と問題点——カルカッタの事例…三宅博之…11…25
アジア諸国に対する技術提携と熟練労 働力の育成——日立精機の経験を素 材に……………清川雪彦…6…27	一次産品取引における情報伝達——タ イ産天然ゴムの品質改善を中心に…重富真一…12…2
タイ製造業の市場構造——企業集中度 の上昇を中心として……………谷口興二…6…39	韓国における地主小作関係についての 論点——朴珍道「戦後韓国における 地主小作関係の展開とその構造」を めぐって……………倉持和雄…12…24
インド財政における中央・州関係(II) ——財政移転の分析, 1972～84年…佐藤 宏…6…51	
ナイジェリアにおける「家内奴隷」の 解放と労働力移動——植民地期ハウ	

<研究ノート>

イギリス植民地下におけるスリランカ の言語ナショナリズム……………山本真弓…1…34

韓国における技能者養成政策の変容…水野順子…1…55	
ブラジルの人口・地域・経済原型モデル……………福地崇生 徒永澄意…2…63	
中国における企業の役割(Ⅰ)——生活 の場としての側面……………木崎みどり…3…36	
南東関係の経済分析——ポーランドの 場合……………森田 憲…3…50	
シンガポールの選挙, 1948~84年 ——PAP支配体制の一側面……………岩崎育夫…4…49	
中国における企業の役割(Ⅱ)——生活 の場としての側面……………木崎みどり…4…70	
市場における人間関係と市場の経済的 機能——東南アジア市場研究とフィ リピンでの調査事例を踏まえつつ…佐竹眞明…5…40	
韓国・タイの労働投入構造……………糸賀 滋…5…63	
ブラジルのプロイラー産業……………浜口伸明…9…56	
コメコン加盟諸国の外国貿易統一商品 品目表について……………平泉秀樹…10…39	
中国「蘇南地区」における農村労働力 の就業構造……………巖 善平…11…43	
ワニット・バナノンと太平洋戦争初期 の日・タイ関係——回想録「ワニッ トの悲劇」をめぐって……………清水 元…12…49 ベンジャミン ・A・バトソン	
中国の自動車工業——産業組織と 技術……………南 亮進…12…76	

<特別連載>

満鉄調査関係者に聞く 第21~30回	
満鉄地質調査所概史……………松田亀三…1…73	
満鉄中央試験所と満洲の資源開発……………森川 清…2…74	
満鉄の初期調査活動——石川鉄雄と野 中時雄……………伊藤武雄…3…63	
満鉄の情報・弘報活動……………磯村幸男…4…83	
満鉄の貨物運賃政策……………尾崎久市…5…72	
調査課時代——大正期……………伊藤武雄…6…68	
経済調査会から調査部まで(Ⅰ)——調 査の自主的企画と総合調査……………三輪 武…9…67	
経済調査会から調査部まで(Ⅱ)——調 査の自主的企画と総合調査……………三輪 武…10…56	
「満鉄調査部事件」(1942~45年) について……………山口博…11…62	
満鉄上海事務所の宣撫・情報活動……………熊谷 康…12…87	

<資 料>

フィリピン中期開発計画1987~92年…小池賢治…1…96	
財政から見たインドネシアの国家と 地方……………加納啓良…2…95	
シンガポールの華人系企業集団……………岩崎育夫…3…86	
ナイジェリアの農業開発——アナムブ ラ州における大規模灌漑稲作の 事例……………望月克哉…7・8…129	

<現地報告>

ザンビアの移動労働者調査ノート ……………小倉充夫…7・8…111	
国際産業連関表の作成上の問題点 ——「産業連関表の作成上の問題点 に関する第2回国際会議」に出席し て……………山崎 茂…10…80	

<書 評>

森田桐郎編『国際労働力移動』……………涂 照彦…1…105	
森野勝好著『発展途上国の工業化—— インドにおける工作機械工業の発 展——』……………石上悦朗…1…110	
ロバート・W・シェントン著『北部ナ イジェリアにおける資本主義の 発展』……………室井義雄…2…106	
ムハマド・R・カマル著『バングラデ シュ小規模・家内工業の諸問題』…長田満江…2…112	
A・R・ケーヒン編『インドネシア革 命の地方的ダイナミズム——多様性 の中の統一——』……………土屋健治…3…108	
山田秀雄編『イギリス帝国経済の構 造』……………木畑洋…3…112	
中国現代史研究会編『中国国民政府史 の研究』……………西村成雄…4…107	
千葉泰雄著『国際商品協定と一次産品 問題』……………石田曉恵…5…97	
菰田文男著『国際技術移転の理論』…河宮信郎…6…93	
R・ファースト著『黒い黄金——モザ ンビーク人鉱山労働者, プロレタリ アート, 小農——』……………林 晃史…7・8…119	
M・R・ヴァン・ディック著『セネガ ル——ダカールのインフォーマル部 門——』……………勝俣 誠…7・8…124	

	No. ページ
W・C・バウム; S・M・トルバート著 細見卓監修 OECF 開発援助研究 会訳『途上国の経済開発——世界銀 行35年の経験と教訓——』……………小野五郎…9…92	
絵所秀紀著『現代インド経済研究—— 金融革命と経済自由化をめぐる諸問 題——』……………小島 眞…9…97	
J・T・シーゲル著『新体制下のソロ ——インドネシアの都市における言 語とヒエラルキー——』……………福島真人…10…91	
小島麗逸編『中国の経済改革』……………中兼和津次…10…97	
朝鮮銀行史研究会編『朝鮮銀行史』……………村上勝彦…11…89	
深沢 宏著『インド農村社会経済史の 研究』……………中里成章…11…93	
H・フラキエルスキ著『経済改革と所 得分配』……………田中 宏…11…98	

	No. ページ
エリス・ヨッフエ著『毛以後の中国軍』 ……………浅野 亮…12…111	
池田 誠編著『抗日戦争と中国民衆』 ……………川井伸一…12…114	
<そ の 他>	
『戦間期中東における英日貿易抗争』 に関する岡野内正氏の書評について ……………清水 洋…2…117	
「書評：『戦間期中東における英日貿 易抗争』の補足説明——著者・清 水洋氏に答える……………岡野内 正…2…119	
特集「アフリカ諸国の労働移動」にあ たって……………原口武彦…7・8…2	
発展途上国研究奨励 賞受賞作品の講評……………中村隆英・原 洋之介 渡 辺 利 夫…7・8…146 大 野 盛 雄	